

新卒保健師の職務に必要な自己の能力についての認知と職場内教育に対する要望, 北陸公衆衛生学会誌, 29(2), 58-63

中西睦子編 (1998): 看護サービス管理, 医学書院, 東京

Philip Burnard (河合美子訳) (1994): ナースが自分を知る本, 医学書院, 東京

地域保健従事者の資質の向上に関する検討会  
地域保健従事者資質向上検討会のための調査研究委員会編 (2004): 地域保健を支える人材育成—実態調査と事例から見た将来像—, 中央法規, 東京

村山正子, 丸山美知子, 山崎京子, 他 (2000): 職場内教育 (OJT) ガイドブック—保健婦の保健計画・施策化能力育成—. 保健婦現任教育研究会.

#### E. 健康危険情報

特記すべきことなし

#### F. 研究発表

##### 1. 論文発表

佐伯和子, 竹邦子, 畦地和子, 他 (2004): 職場に「スーパーバイズ」のシステムをつくろう! 大学からのスタッフ支援の取り組みをとおして. 保健師ジャーナル, 60,

124-129

佐伯和子, 和泉比佐子, 宇座美代子, 他 (2003): 行政機関に働く保健師の専門職務遂行能力の測定用具の開発. 地域看護学会誌, 6 (1), 32-39

佐伯和子 (2004): ITを活用したこれらからの現任教育のあり方と課題. 公衆衛生情報, 34 (1), 42-44

##### 2. 学会発表

四方雅代, 佐伯和子: 自治体に働く新卒保健師の職務に必要な自己の能力についての認知と現任教育に対する要望. 日本地域看護学会第6回学術集会講演集, 117, 2003

#### G. 知的財産の出願・登録状況

特になし

#### 研究協力者

大野 昌美 金沢大学医学部保健学科  
助手

大倉 美佳 金沢大学医学部保健学科  
助手

四方 雅代 石川現任教育研究会

## 新任者プログラムの概要

### 1 対象

就業して1～5年目までの新任期の保健師  
プリセプター制をとるのは1年目のみとする

### 2 目的と目標

#### A 目的

- 1) 対人支援能力の育成
- 2) 保健師としてのマインドの育成
- 3) 自己学習能力の育成
- 4) 思考分析判断能力の育成

#### B 行動目標

- 1) 住民の視点で、住民の生活に属したニーズを理解できる
- 2) 住民とともに健康課題を考え、協働で課題解決ができる
- 3) 対人支援に必要な地域の資源を理解し、支援に導入できる
- 4) 様々な方法を用いて、地域で生活する個人家族への看護支援を実施し、評価できる
- 5) 保健師としてのアイデンティティを持つことができる
- 6) 自己の対人支援についての課題を探索し、当面の目標を設定できる
- 7) 専門職業能力向上のために、設定した目標達成に向けて自己学習し自己評価できる

図1 新任者プログラムの概要

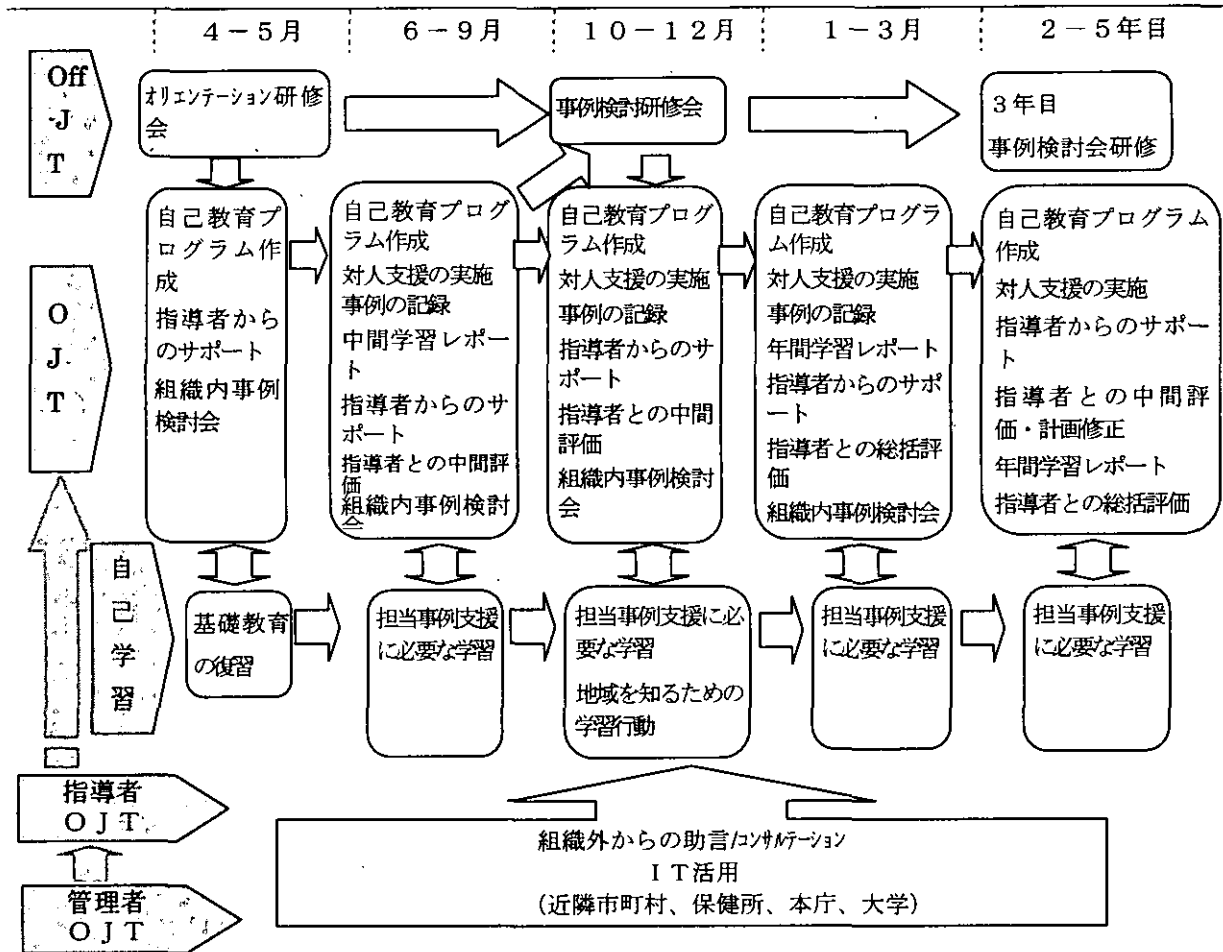


図2 新任者プログラムの流れ

表 1 対象者の概要

N=18

	人数	%	人数	%
一般属性				
性			スタッフ	100.0
女性	16	88.9	無回答	-
男性	2	11.1	母子	38.9
年齢			成人	27.8
22~24歳	12	66.7	高齢者	16.7
25~29歳	6	33.3	障害者	0.0
無回答	-	-	介護保険	0.0
平均±標準偏差(歳)		23.9±2.1	企画・調整	0.0
職業経験			管理	0.0
保健師経験年数			その他	16.7
1年未満	13	72.2	無回答	-
1年以上3年未満	5	27.8		
無回答	-	-		
平均±標準偏差(年)		1.3±0.6		
職業年数			教育背景	
1年未満	10	55.6	保健師専門教育	
1年以上2年未満	4	22.2	養成所・短期大学	50.0
2年以上3年未満	0	0.0	大学	50.0
3年以上5年未満	3	16.6	無回答	-
5年以上8年未満	1	5.6	養成所	33.3
無回答	-	-	短期大学	16.7
平均±標準偏差(年)		2.1±1.7	大学・大学院	50.0
所属			無回答	-
勤務自治体				
道県	1	5.6	所属自治体の保健師数	
市町村	17	94.4	1~2人	5.6
無回答	-	-	3~5人	38.9
保健	14	77.8	6~10人	22.2
福祉	0	0.0	11人以上	33.3
保健福祉	3	16.7	無回答	-
その他	1	5.6	モデルとなる先輩の存在	
無回答	-	-	職場内にあり	88.9
			職場外にあり	5.6
			なし	5.6
			無回答	-

## 研修会カリキュラム（Off-JT）

表2 オリエンテーション研修（1回目）

- 目 標 ①対人支援の重要性の理解とおもしろさがわかる  
 ②専門職業人として自己学習能力を高めることの必要性がわかる  
 ③自己学習プログラムの立案の必要性がわかる

目 標	内 容
1) 対人支援の重要性とおもしろさの理解 ① 個人家族を支援する意味がわかる ② 保健師としての成長の過程がわかる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保健師が行う個人家族への支援</li> <li>・職業人としての発達と個人家族への支援</li> <li>・系統的継続的成長</li> </ul>
2) 専門職業人として自己学習能力向上 ① コンピテンシーとは何か理解する ② 行政機関で働く職員に求められる能力がわかる ③ 自己学習の重要性がわかる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行政に働く保健師のコンピテンシー</li> <li>・基幹人材に期待される能力</li> </ul>
3) 自己学習のプログラム立案 ① 教育プログラム全体を理解する ② 自己学習目標の設定を考えられる ③ 継続教育における学習の方法がわかる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育プログラムの概要</li> <li>・新任者としての責任と行動</li> </ul>

表3 事例検討研修会（2回目）

- 目 標 ①個人家族事例のアセスメントがわかる  
 ②保健師のアイデンティティをもてる  
 ③自己学習の推進ができる

目 標	内 容
1) 個人家族のアセスメント理解 ① 個人家族のアセスメント視点がわかる ② 地域の資源を活用した支援がわかる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事例の生活を支える視点、健康状態の判断</li> <li>・対象者や関係機関と協働した支援</li> </ul>
2) 専門職業人である保健師としての自己像をもてる ① 保健専門職としての行政での役割を理解する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対人支援における保健師の役割</li> <li>・地域保健活動における対人支援の位置づけ</li> </ul>
3) 自己学習の推進 ① 自己学習目標を修正して設定できる ② 学習方法の修正と決定ができる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続教育における自己評価の意味</li> <li>・新任者としての責任と行動</li> </ul>

表4 オリエンテーション研修後評価

N=18

項目	A		B		C		D	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1 個人家族を支援する意味がわかる	1	5.6	14	77.7	2	11.1	1	5.6
2 保健師としての成長の過程がわかる	2	11.1	12	66.7	4	22.2	0	0.0
3 コンピテンシーとは何か理解する	1	5.6	11	61.1	5	27.7	1	5.6
4 行政機関で働く職員に求められる能力がわかる	1	5.6	11	61.1	6	33.3	0	0.0
5 自己学習の重要性がわかる	10	55.5	8	44.5	0	0.0	0	0.0
6 教育プログラム全体を理解する	1	5.6	10	55.5	7	38.9	0	0.0
7 自己学習目標の設定を考えられる	1	5.6	14	77.7	3	16.7	0	0.0
8 継続教育における学習の方法がわかる	0	0.0	7	38.9	11	61.1	0	0.0

A:理解できた B:まあまあ理解できた C:あまり理解できなかった D:理解できなかった

表5 事例検討研修会後評価

N=19

項目	A		B		C		D	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1 個人家族のアセスメント視点がわかる	5	26.3	13	68.4	1	5.3	0	0.0
2 地域の資源を活用した支援がわかる	2	10.5	11	57.9	6	31.6	0	0.0
3 保健専門職としての行政での役割を理解する	1	5.3	16	84.2	2	10.5	0	0.0
4 必要に応じて自己学習目標を修正し、学習目標を再設定できる	3	15.8	11	57.9	5	26.3	0	0.0
5 必要に応じて学習方法を修正し、改めて学習方法を決定できる	0	0.0	13	68.4	6	31.6	0	0.0

A:理解できた B:まあまあ理解できた C:あまり理解できなかった D:理解できなかった

表6 職場内外の相談・教育体制とOJTへの満足度

項目	ベースライン (N=18)		中間 (N=17)		
	人数	%	人数	%	
職場内の相談体制	相談できる上司・同僚いない	0	0.0	0	0.0
	職場内に何でも相談できる上司・同僚がいる	4	22.2	9	52.9
	仕事上のことを相談できる上司・同僚がいる	9	50.0	6	35.3
	個人的な相談ができる上司・同僚がいる	5	27.8	2	11.8
	無回答	—	—	—	—
	相談できる相手はいない	2	11.1	1	5.9
	身近に何でも相談できる相手がいる	8	44.4	11	64.7
職場外の相談体制	仕事上のことを相談できる相手がいる	2	11.1	1	5.9
	個人的な相談ができる相手がいる	6	33.3	4	23.5
	無回答	—	—	—	—
	とくに決まっていない	3	16.7	0	0.0
	同じ職場にいて常に指導してくれる	3	16.7	2	11.8
	同じ職場にいて必要に応じて指導してくれる	11	61.1	14	82.4
	同じ職場にいてとくに指導はない	0	0.0	0	0.0
現任教育の担当指導者 (複数回答)	近くの職場で必要に応じて指導してくれる	0	0.0	0	0.0
	近くの職場にいてとくに指導はない	0	0.0	0	0.0
	大学の恩師など外部の者に指導を受けている	0	0.0	0	0.0
	その他	1	5.6	1	5.9
	無回答	—	—	—	—
	とくに何も指導されていない	0	0.0	0	0.0
	日常業務の進め方	15	83.3	11	64.7
	自分の能力や個性にあった指導	6	33.3	7	41.2
	わかりやすい説明	9	50.0	12	70.6
	自分の仕事に関する評価	8	44.4	5	29.4
その他	0	0.0	1	5.9	
OJTへの満足度 (6点満点)	4.4±1.1. [2-6]		4.4±0.8, [3-6]		
平均±標準偏差 (点), [range]					

表7-1 対人支援能力発達のための事例の体験状況

人 (%)

領域 / 種別	体験状況	ベースライン (N=18)				中間 (N=17)			
		なし	1事例	2~5事例	6事例以上	なし	1事例	2~5事例	6事例以上
<b>▼1年目までに必ず1事例以上を受け持つて体験</b>									
<b>【母子事例】</b>									
新生児, 未熟児	見学のみ	7 (38.9)	8 (44.4)	3 (16.7)	0 (0.0)	5 (29.4)	6 (35.3)	6 (35.3)	0 (0.0)
	他保健師と一緒に	12 (66.7)	2 (11.1)	4 (22.2)	0 (0.0)	10 (58.8)	2 (11.8)	4 (23.5)	1 (5.9)
	単独で	11 (61.1)	0 (0.0)	7 (38.9)	0 (0.0)	6 (35.3)	4 (23.5)	2 (11.8)	5 (29.4)
<b>【成人事例】</b>									
健診事後, 健康相談, 生活習慣病	見学のみ	13 (72.2)	1 (5.6)	4 (22.2)	0 (0.0)	10 (58.8)	1 (5.9)	6 (35.3)	0 (0.0)
	他保健師と一緒に	14 (77.8)	0 (0.0)	4 (22.2)	0 (0.0)	10 (58.8)	1 (5.9)	5 (29.4)	1 (5.9)
	単独で	9 (50.0)	1 (5.6)	4 (22.2)	4 (22.2)	3 (17.6)	2 (11.8)	4 (23.5)	8 (47.1)
脳卒中後遺症	見学のみ	15 (83.3)	0 (0.0)	3 (16.7)	0 (0.0)	14 (82.4)	1 (5.9)	2 (11.8)	0 (0.0)
	他保健師と一緒に	15 (83.3)	1 (5.6)	2 (11.1)	0 (0.0)	13 (76.5)	1 (5.9)	3 (17.6)	0 (0.0)
	単独で	10 (55.6)	3 (16.7)	4 (22.2)	1 (5.6)	8 (47.1)	3 (17.6)	3 (17.6)	3 (17.6)
<b>【高齢者事例】</b>									
寝たきり	見学のみ	18 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	15 (88.2)	2 (11.8)	0 (0.0)	0 (0.0)
	他保健師と一緒に	18 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	16 (94.1)	1 (5.9)	0 (0.0)	0 (0.0)
	単独で	14 (77.8)	3 (16.7)	1 (5.6)	0 (0.0)	13 (76.5)	3 (17.6)	1 (5.9)	0 (0.0)

表7-2 対人支援能力発達のための事例の体験状況

人 (%)

領域 / 種別	ベースライン (N=18)				中間 (N=17)			
	なし	1事例	2~5事例	6事例以上	なし	1事例	2~5事例	6事例以上
<b>▼3年目までに必ず1事例以上を受け持って体験</b>								
<b>【母子事例】</b>								
障害児	14 (77.8)	3 (16.7)	1 (5.6)	0 (0.0)	12 (70.6)	4 (23.5)	1 (5.9)	0 (0.0)
見学のみ								
他保健師と一緒に	15 (83.3)	1 (5.6)	2 (11.1)	0 (0.0)	13 (76.5)	2 (11.8)	2 (11.8)	0 (0.0)
単独で	17 (94.4)	1 (5.6)	0 (0.0)	0 (0.0)	13 (76.5)	3 (17.6)	1 (5.9)	0 (0.0)
<b>【高齢者事例】</b>								
独居者, 虚弱者	12 (66.7)	4 (22.2)	2 (11.1)	0 (0.0)	9 (52.9)	6 (35.3)	2 (11.8)	0 (0.0)
見学のみ								
他保健師と一緒に	15 (83.3)	2 (11.1)	0 (0.0)	1 (5.6)	12 (70.6)	4 (23.5)	0 (0.0)	1 (5.9)
単独で	14 (77.8)	0 (0.0)	3 (16.7)	1 (5.6)	11 (64.7)	1 (5.9)	4 (23.5)	1 (5.9)
<b>【精神事例】</b>								
慢性期, 統合失調症	15 (83.3)	2 (11.1)	1 (5.6)	0 (0.0)	14 (82.4)	2 (11.8)	1 (5.9)	0 (0.0)
見学のみ								
他保健師と一緒に	17 (94.4)	1 (5.6)	0 (0.0)	0 (0.0)	15 (88.2)	2 (11.8)	0 (0.0)	0 (0.0)
単独で	17 (94.4)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (5.6)	14 (82.4)	1 (5.9)	1 (5.9)	1 (5.9)
<b>【感染症事例】</b>								
結核等の感染症	17 (94.4)	1 (5.6)	0 (0.0)	0 (0.0)	16 (94.1)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
見学のみ								
他保健師と一緒に	18 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	17 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
単独で	17 (94.4)	1 (5.6)	0 (0.0)	0 (0.0)	16 (94.1)	0 (0.0)	1 (5.9)	0 (0.0)



表7-3 対人支援能力発達のための事例の体験状況

人 (%)

領域 / 種別	体験状況	ベースライン (N=18)				中間 (N=17)			
		なし	1事例	2~5事例	6事例以上	なし	1事例	2~5事例	6事例以上
<b>▼3年目までに必ず1事例以上を受け持って体験</b>									
<b>【難病事例】</b>									
神経難病	見学のみ	18 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	17 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
	他保健師と一緒に	16 (88.9)	2 (11.1)	0 (0.0)	0 (0.0)	14 (82.4)	3 (17.6)	0 (0.0)	0 (0.0)
	単独で	17 (94.4)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (5.6)	15 (88.2)	1 (5.9)	0 (0.0)	1 (5.9)
<b>▼5年目までに必ず1事例以上を受け持って体験</b>									
<b>【母子事例】</b>									
虐待事例	見学のみ	18 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	17 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
	他保健師と一緒に	17 (94.4)	1 (5.6)	0 (0.0)	0 (0.0)	16 (94.1)	1 (5.9)	0 (0.0)	0 (0.0)
	単独で	17 (94.4)	1 (5.6)	0 (0.0)	0 (0.0)	16 (94.1)	1 (5.9)	0 (0.0)	0 (0.0)
<b>【その他 (自由記載)】</b>									
若年障害者	単独で	-	1 (5.6)	-	-	-	-	1 (5.9)	-
痴呆 (予防含む)	見学のみ	-	-	-	-	-	-	1 (5.9)	-
"	他保健師と一緒に	-	-	-	-	-	1 (5.9)	-	-
"	単独で	-	-	1 (5.6)	-	-	-	1 (5.9)	-
アルコール依存症	単独で	-	-	-	-	-	1 (5.9)	-	-
母に知的障害あり	単独で	-	-	-	-	-	1 (5.9)	-	-

表7-4 対人支援能力発達のための事例の体験状況

人 (%)

	ベースライン (N=18)				中間 (N=17)			
	なし	1事例	2事例	6事例以上	なし	1事例	2事例	6事例以上
<b>【家庭訪問事例】</b>								
見学のみ	8 (44.4)	3 (16.7)	7 (38.9)	0 (0.0)	5 (29.4)	1 (5.9)	11 (64.7)	0 (0.0)
他保健師と一緒に	9 (50.0)	5 (27.8)	3 (16.7)	1 (5.6)	5 (29.4)	5 (29.4)	6 (35.3)	1 (5.9)
単独で	5 (27.8)	2 (11.1)	4 (22.2)	7 (38.9)	2 (11.8)	1 (5.9)	2 (11.8)	12 (70.6)
<b>【健康相談事例】</b>								
見学のみ	15 (83.3)	0 (0.0)	3 (16.7)	0 (0.0)	10 (58.8)	1 (5.9)	6 (35.3)	0 (0.0)
他保健師と一緒に	15 (83.3)	1 (5.6)	1 (5.6)	1 (5.6)	9 (52.9)	2 (11.8)	4 (23.5)	2 (11.8)
単独で	9 (50.0)	3 (16.7)	2 (11.1)	4 (22.2)	2 (11.8)	4 (23.5)	6 (35.3)	5 (29.4)
<b>【受け持ち事例を所内・所外の調整会議に提案し、処遇検討を行った経緯】</b>								
あり			4 (22.2)				7 (41.2)	
なし				14 (77.8)			10 (58.8)	
無回答								

表8-1 対人支援能力発達のための地域関係機関体験状況

人 (%)

	ベースライン (N=18)					中間 (N=17)				
	挨拶・見学	事例紹介	連絡・調整	短期研修*	就業**	挨拶・見学	事例紹介	連絡・調整	短期研修*	就業**
都道府県関連	保健所 サービス担当課	10 (55.6)	1 (5.6)	2 (11.1)	2 (11.1)	12 (70.6)	2 (11.8)	6 (35.3)	3 (17.6)	0 (0.0)
	保健所 企画調整担当課	12 (66.7)	0 (0.0)	1 (5.6)	4 (22.2)	14 (82.4)	0 (0.0)	4 (23.5)	5 (29.4)	0 (0.0)
	福祉事務所	1 (5.6)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (11.8)	0 (0.0)	2 (11.8)	0 (0.0)	0 (0.0)
	児童相談所	2 (11.1)	1 (5.6)	2 (11.1)	0 (0.0)	4 (23.5)	2 (11.8)	2 (11.8)	0 (0.0)	0 (0.0)
	精神保健福祉センター	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (5.9)	0 (0.0)
市町村関連	市町村 保健部門・母子	4 (22.2)	0 (0.0)	1 (5.6)	0 (0.0)	8 (47.1)	2 (11.8)	5 (29.4)	0 (0.0)	1 (5.9)
	成人	3 (16.7)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	6 (35.3)	2 (11.8)	6 (35.3)	0 (0.0)	0 (0.0)
	高齢者	4 (22.2)	0 (0.0)	1 (5.6)	0 (0.0)	7 (41.2)	2 (11.8)	5 (29.4)	0 (0.0)	0 (0.0)
	市町村 福祉部門	10 (55.6)	1 (5.6)	2 (11.1)	0 (0.0)	14 (82.4)	2 (11.8)	9 (52.9)	0 (0.0)	0 (0.0)
	市町村 住民窓口担当課	8 (44.4)	1 (5.6)	0 (0.0)	0 (0.0)	13 (76.5)	2 (11.8)	5 (29.4)	0 (0.0)	0 (0.0)

短期研修\*: 2~3日から1~2週間程度の研修 就業\*\*: ショッピングセンターとしての配置転換

表8-2 対人支援能力発達のための地域関係機関体験状況

人 (%)

	ベースライン (N=18)				中間 (N=17)					
	挨拶・見学	事例紹介	連絡・調整	短期研修*	長期研修**	挨拶・見学	事例紹介	連絡・調整	短期研修*	長期研修**
在宅関連										
在宅介護支援センター	7 (38.9)	1 (5.6)	4 (22.2)	0 (0.0)	0 (0.0)	9 (52.9)	6 (35.3)	9 (52.9)	0 (0.0)	0 (0.0)
訪問看護ステーション	4 (22.2)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	6 (35.3)	2 (11.8)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
デイケア・デイサービス部門	5 (27.8)	0 (0.0)	1 (5.6)	0 (0.0)	0 (0.0)	8 (47.1)	2 (11.8)	5 (29.4)	0 (0.0)	0 (0.0)
医療										
中核病院	5 (27.8)	0 (0.0)	1 (5.6)	1 (5.6)	0 (0.0)	6 (35.3)	2 (11.8)	1 (5.9)	1 (5.9)	0 (0.0)
病院, 医院, 診療所	9 (50.0)	0 (0.0)	4 (22.2)	0 (0.0)	0 (0.0)	11 (64.7)	1 (5.9)	10 (58.8)	0 (0.0)	0 (0.0)
地区										
地区民生委員	3 (16.7)	0 (0.0)	2 (11.1)	0 (0.0)	0 (0.0)	5 (29.4)	0 (0.0)	3 (17.6)	0 (0.0)	0 (0.0)
地区児童民生委員	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	3 (17.6)	0 (0.0)	1 (5.9)	0 (0.0)	0 (0.0)
学校										
小学校	2 (11.1)	0 (0.0)	2 (11.1)	0 (0.0)	0 (0.0)	5 (29.4)	0 (0.0)	5 (29.4)	0 (0.0)	0 (0.0)
中学校	1 (5.6)	0 (0.0)	1 (5.6)	0 (0.0)	0 (0.0)	4 (23.5)	0 (0.0)	3 (17.6)	0 (0.0)	0 (0.0)

短期研修\*: 2~3日から1~2週間程度の研修 就業\*\*: ショプロローテーションとしての配置転換

表9 職場内外における自己研鑽状況

項 目	ベースライン (N=18)		中 間 (N=17)	
	人数	%	人数	%
<b>職場内外の教育</b>				
今年度の学会等への参加	18	100.0	14	82.4
なし				
あり	0	0.0	3	17.6
無回答	—	—	—	—
“学会等への参加あり”の内訳 (複数回答)				
学会に参加	—	—	3	17.6
学会で発表	—	—	0	0.0
誌上で発表	—	—	0	0.0
研究に協力	—	—	0	0.0
その他	—	—	0	0.0
今年度の研修参加	3	16.7	0	0.0
なし				
あり	15	83.3	17	100.0
無回答	—	—	—	—
“研修参加あり”の内訳 (複数回答)				
初任者向けの行政研修	12	66.7	13	76.5
専門技術に関する研修	8	44.4	13	76.5
外部研修に派遣	1	5.6	3	17.6
專業評価や行政評価の研修	1	5.6	2	11.8
事業企画や施策立案に関する研修	1	5.6	3	17.6
外部研修に自費で参加	0	0.0	5	29.4
その他	2	11.1	1	5.9
実践能力を高める努力 (6点満点)	3.7±1.0. [2-5]		3.9±1.0. [2-5]	
平均±標準偏差 (点), [range]				

表10 新任者自己学習行動 自己評価結果

人 (%)

項目	ベースライン (N=18)				中間 (N=17)				無 回答
	A	B	C	D	A	B	C	D	
1 自己のキャリア発達上の学習課題を設定できる	0 (0.0)	9 (50.0)	7 (38.9)	2 (11.1)	1 (5.9)	11 (64.7)	5 (29.4)	0 (0.0)	-
2 自己の段階的な目標を明確化できる	0 (0.0)	6 (33.3)	9 (50.0)	3 (16.7)	1 (5.9)	9 (52.9)	7 (41.2)	0 (0.0)	-
3 自己の目標到達状況を把握できる	0 (0.0)	6 (33.3)	7 (38.9)	4 (22.2)	0 (0.0)	10 (58.8)	6 (35.3)	1 (5.9)	-
4 自己の目標達成のための課題を把握し、修正しながら教育計画を遂行できる	0 (0.0)	2 (11.1)	10 (55.6)	6 (33.3)	0 (0.0)	6 (35.3)	9 (52.9)	2 (11.8)	-
5 対人支援のために書物や資料、ITを活用して学習ができる	4 (22.2)	7 (38.9)	7 (38.9)	0 (0.0)	1 (5.9)	13 (76.5)	3 (17.6)	0 (0.0)	-
6 個別支援(家庭訪問)の記録を保健師の上司または指導者に提出し、指導を受ける	5 (27.8)	7 (38.9)	3 (16.7)	3 (16.7)	3 (17.6)	4 (23.5)	8 (47.1)	2 (11.8)	-
7 対人援助に関して、困難を感じたときに、先輩や上司の指導を積極的に受ける	6 (33.3)	9 (50.0)	3 (16.7)	0 (0.0)	8 (47.1)	6 (35.3)	3 (17.6)	0 (0.0)	-
8 対人援助に関して、困難を感じたときに、関係機関や援助チームのメンバーの指導を積極的に受ける	3 (16.7)	7 (38.9)	8 (44.4)	0 (0.0)	2 (11.8)	8 (47.1)	7 (41.2)	0 (0.0)	-
9 対人援助の評価について先輩や上司の指導を積極的に受ける	4 (22.2)	5 (27.8)	7 (38.9)	2 (11.1)	3 (17.6)	6 (35.3)	6 (35.3)	2 (11.8)	-
10 相互学習の機会に自主的に参加する	2 (11.1)	6 (33.3)	7 (38.9)	3 (16.7)	4 (23.5)	2 (11.8)	9 (52.9)	2 (11.8)	-
11 自己の職務遂行能力の評価ができる	1 (5.6)	5 (27.8)	10 (55.6)	2 (11.1)	0 (0.0)	5 (29.4)	9 (52.9)	3 (17.6)	-

A: できた(している) B: まあまあできた(まあまあしている) C: あまりできなかった(あまりしていない) D: できなかった(していない)

表11-1 専門職務遂行能力尺度 項目別結果

人 (%)

項目	ベースライン (N=18)					中間 (N=17)						
	←不十分		十分→			←不十分		十分→				
	平均±	標準偏差	1	2	3	4	平均±	標準偏差	1	2	3	4
	平均±標準偏差 (点), [range]					37.3±5.6, [28-48]						
1 個人家族をアセスメントする力	2.2±0.5		1	12	5	0	2.4±0.5		0	11	6	0
			(5.6)	(66.7)	(27.8)	(0.0)			(0.0)	(64.7)	(35.3)	(0.0)
2 個人家族への看護計画を立案する力	2.1±0.6		3	11	4	0	2.2±0.4		0	13	4	0
			(16.7)	(61.1)	(22.2)	(0.0)			(0.0)	(76.5)	(23.5)	(0.0)
3 健康相談で個人家族をサポートする力	2.1±0.7		4	9	5	0	2.5±0.5		0	8	9	0
			(22.2)	(50.0)	(27.8)	(0.0)			(0.0)	(47.1)	(52.9)	(0.0)
4 在宅で生活する個人家族へ援助する力	1.8±0.6		5	11	2	0	2.2±0.6		1	11	5	0
			(27.8)	(61.1)	(11.1)	(0.0)			(5.9)	(64.7)	(29.4)	(0.0)
5 個人家族への看護援助を評価する力	1.8±0.7		6	9	3	0	2.2±0.4		0	13	4	0
			(33.3)	(50.0)	(16.7)	(0.0)			(0.0)	(76.5)	(23.5)	(0.0)
6 集団をアセスメントする力	1.8±0.6		5	11	2	0	2.2±0.6		1	11	5	0
			(27.8)	(61.1)	(11.1)	(0.0)			(5.9)	(64.7)	(29.4)	(0.0)
7 集団への援助プログラムを立案する力	1.7±0.5		6	12	0	0	2.2±0.6		2	10	5	0
			(33.3)	(66.7)	(0.0)	(0.0)			(11.8)	(58.8)	(29.4)	(0.0)
8 集団への健康教育を実施する力	2.1±0.6		2	12	4	0	2.5±0.6		1	7	9	0
			(11.1)	(66.7)	(22.2)	(0.0)			(5.9)	(41.2)	(52.9)	(0.0)
9 セルフヘルプグループをサポートする力	1.6±0.6		9	8	1	0	1.8±0.6		5	11	1	0
			(50.0)	(44.4)	(5.6)	(0.0)			(29.4)	(64.7)	(5.9)	(0.0)
10 集団への援助を評価する力	1.7±0.6		6	11	1	0	1.8±0.5		4	12	1	0
			(33.3)	(61.1)	(5.6)	(0.0)			(23.5)	(70.6)	(5.9)	(0.0)

※ 各項目4点満点

表 11-2 専門職務遂行能力尺度 項目別結果

人 (%)

項目	ベースライン (N=18)								中間 (N=17)							
	←不十分				十分→				←不十分				十分→			
	平均±標準偏差	1	2	3	4	1	2	3	4	平均±標準偏差	1	2	3	4		
11 地域をアセスメントする力	1.8±0.5	5	12	1	0	27.8	66.7	(5.6)	(0.0)	1.8±0.5	4	12	1	0		
12 事業計画を立案する力	1.5±0.8	12	3	3	0	66.7	16.7	(16.7)	(0.0)	1.7±0.7	8	7	2	0		
13 地域の保健福祉計画を立案する力	1.2±0.5	15	2	1	0	83.3	11.1	(5.6)	(0.0)	1.4±0.6	11	5	1	0		
14 地域の調整等コーディネートする力	1.5±0.6	10	7	1	0	55.6	38.9	(5.6)	(0.0)	1.7±0.6	7	9	1	0		
15 地域のシステムを構築する力	1.2±0.5	15	2	1	0	83.3	11.1	(5.6)	(0.0)	1.4±0.6	12	4	1	0		
16 事業を評価する力	1.6±0.6	9	8	1	0	50.0	44.4	(5.6)	(0.0)	1.8±0.6	5	11	1	0		
17 施策を評価する力	1.4±0.6	12	5	1	0	66.7	27.8	(5.6)	(0.0)	1.5±0.6	10	6	1	0		
18 後輩を育成する力	1.1±0.2	17	1	0	0	94.4	5.6	(0.0)	(0.0)	1.3±0.5	12	5	0	0		
19 チームを管理する力	1.1±0.3	16	2	0	0	88.9	11.1	(0.0)	(0.0)	1.2±0.4	13	4	0	0		
20 研究を行う力	1.3±0.7	14	3	0	1	77.8	16.7	(0.0)	(5.6)	1.6±0.6	8	8	1	0		

※ 各項目4点満点



表 1 2 業務への自信

項 目	ベースライン (N=18)	中 間 (N=17)
対人支援サービスに対する自信(10点満点)	平均±標準偏差(点), [range] 4.6±1.4, [2-7]	5.1±1.6, [3-8]
施策化や管理の仕事に対する自信(10点満点)	平均±標準偏差(点), [range] 2.6±1.5, [1-6]	2.8±1.5, [1-5]

表 13-1 対人支援能力発達評価 項目別分布

人 (%)

項目	ベースライン (N=18)				中間 (N=17)					
	A	B	C	D	無回答	A	B	C	D	無回答
<b>個人家族のアセスメント：総合</b>										
個人の発達や疾病管理が主となる事例	0 (0.0)	2 (11.1)	13 (72.2)	3 (16.7)	-	1 (5.9)	9 (52.9)	5 (29.4)	2 (11.8)	-
家族関係の調整が必要な事例，心理社会的問題の大きい事例	0 (0.0)	1 (5.6)	10 (55.6)	7 (38.9)	-	0 (0.0)	1 (5.9)	14 (82.4)	2 (11.8)	-
チーム援助が必要でマネジメントを行う事例	0 (0.0)	0 (0.0)	12 (66.7)	6 (33.3)	-	0 (0.0)	1 (5.9)	11 (64.7)	5 (29.4)	-
<b>母子</b>										
基本的な事例（新生児等）	0 (0.0)	10 (55.6)	8 (44.4)	0 (0.0)	-	2 (11.8)	12 (70.6)	3 (17.6)	0 (0.0)	-
継続支援が必要な事例（障害児や保育場での問題がある児等）	0 (0.0)	0 (0.0)	11 (61.1)	7 (38.9)	-	0 (0.0)	2 (11.8)	14 (82.4)	1 (5.9)	-
複雑な事例（虐待等）	0 (0.0)	0 (0.0)	5 (27.8)	13 (72.2)	-	0 (0.0)	0 (0.0)	5 (29.4)	12 (70.6)	-
<b>成人</b>										
基本的な事例（健診の事後指導の事例等）， 疾病管理が安定している事例	2 (11.1)	11 (61.1)	5 (27.8)	0 (0.0)	-	3 (17.6)	13 (76.5)	1 (5.9)	0 (0.0)	-
行動変容が困難な事例	0 (0.0)	1 (5.6)	13 (72.2)	4 (22.2)	-	0 (0.0)	4 (23.5)	11 (64.7)	2 (11.8)	-
ターミナル期の事例	0 (0.0)	1 (5.6)	5 (27.8)	12 (66.7)	-	0 (0.0)	1 (5.9)	10 (58.8)	6 (35.3)	-
<b>高齢者</b>										
独居や健康な高齢者の事例	1 (5.6)	11 (61.1)	6 (33.3)	0 (0.0)	-	3 (17.6)	11 (64.7)	2 (11.8)	1 (5.9)	-
寝たきり等の事例	0 (0.0)	3 (16.7)	12 (66.7)	3 (16.7)	-	0 (0.0)	5 (29.4)	10 (58.8)	2 (11.8)	-
痴呆を伴う事例，ターミナル期の事例	0 (0.0)	0 (0.0)	8 (44.4)	10 (55.6)	-	0 (0.0)	2 (11.8)	8 (47.1)	7 (41.2)	-

A：自信を持って自立して判断や行動ができると思う  
 B：ほぼ自立して判断や行動ができると思う  
 C：判断や行動に指導者の支援が必要と思う  
 D：疾病や発達の知識が不十分で判断や行動が困難だと思う

表 1 3 - 2 対人支援能力発達評価 項目別分布

人 (%)

項 目	ベースライン (N=18)				中 間 (N=17)					
	A	B	C	D	無回答	A	B	C	D	無回答
<b>精 神</b>										
回復期にある安定した事例	0 (0.0)	5 (27.8)	11 (61.1)	2 (11.1)	-	1 (5.9)	10 (58.8)	4 (23.5)	2 (11.8)	-
家族関係の調整が必要な複雑な事例	0 (0.0)	0 (0.0)	6 (33.3)	12 (66.7)	-	0 (0.0)	1 (5.9)	11 (64.7)	5 (29.4)	-
多くの問題をもつ事例	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (11.1)	16 (88.9)	-	0 (0.0)	1 (5.9)	5 (29.4)	11 (64.7)	-
<b>感染症</b>										
結核等管理体制に則って支援する事例	0 (0.0)	0 (0.0)	10 (55.6)	8 (44.4)	-	0 (0.0)	2 (11.8)	6 (35.3)	9 (52.9)	-
複雑な問題の事例 (AIDS 等)	0 (0.0)	0 (0.0)	5 (27.8)	13 (72.2)	-	0 (0.0)	0 (0.0)	7 (41.2)	10 (58.8)	-
<b>難 病</b>										
病態の安定した事例	0 (0.0)	4 (22.2)	8 (44.4)	6 (33.3)	-	0 (0.0)	6 (35.3)	7 (41.2)	4 (23.5)	-
医療依存度が高い事例	0 (0.0)	0 (0.0)	8 (44.4)	6 (55.6)	-	0 (0.0)	2 (11.8)	7 (41.2)	8 (47.1)	-
状態が不安定な在宅の事例、ターミナル期の事例	0 (0.0)	0 (0.0)	3 (16.7)	15 (83.3)	-	0 (0.0)	1 (5.9)	6 (35.3)	10 (58.8)	-
<b>個人家族の支援計画立案：総合</b>										
基本的な簡単な事例	0 (0.0)	12 (66.7)	4 (22.2)	2 (11.1)	-	3 (17.6)	11 (64.7)	3 (17.6)	0 (0.0)	-
個人家族の課題解決のためにチームでのケアの調整計画	0 (0.0)	0 (0.0)	13 (72.2)	5 (27.8)	-	0 (0.0)	3 (17.6)	14 (82.4)	0 (0.0)	-
<b>個人家族への健康相談：総合</b>										
頻出課題については、相談の場で健康課題を抽出し、相談できる	0 (0.0)	11 (61.1)	5 (27.8)	2 (11.1)	-	1 (5.9)	12 (70.6)	4 (23.5)	0 (0.0)	-
複雑な問題に対し、継続の判断と支援ができる	0 (0.0)	0 (0.0)	11 (61.1)	7 (38.9)	-	0 (0.0)	4 (23.5)	12 (70.6)	1 (5.9)	-

表 13-3 対人支援能力発達評価 項目別分布

人 (%)

項目	ベースライン (N=18)					中間 (N=17)				
	A	B	C	D	無回答	A	B	C	D	無回答
<b>個人家族への在宅での援助：総合</b>										
保健師が単独で支援できる課題	0 (0.0)	6 (33.3)	10 (55.6)	2 (11.1)	-	2 (11.8)	9 (52.9)	6 (35.3)	0 (0.0)	-
他機関、他職種との連携の下に行う在宅支援	0 (0.0)	0 (0.0)	12 (66.7)	6 (33.3)	-	0 (0.0)	2 (11.8)	15 (88.2)	0 (0.0)	-
<b>援助関係の構築</b>										
受け入れに問題のない事例との関係	2 (11.1)	11 (61.1)	4 (22.2)	1 (5.6)	-	3 (17.6)	12 (70.6)	2 (11.8)	0 (0.0)	-
複雑な家族関係、困難な課題を抱える事例との関係	0 (0.0)	0 (0.0)	13 (72.2)	5 (27.8)	-	0 (0.0)	0 (0.0)	14 (82.4)	3 (17.6)	-
<b>家庭訪問</b>										
受け入れに問題のない事例への訪問	1 (5.6)	14 (77.8)	3 (16.7)	0 (0.0)	-	6 (35.3)	9 (52.9)	2 (11.8)	0 (0.0)	-
訪問を拒否しているが、支援が必要な事例への関係	0 (0.0)	0 (0.0)	6 (55.6)	8 (44.4)	-	0 (0.0)	1 (5.9)	13 (76.5)	3 (17.6)	-
<b>家族指導・調整</b>										
解決が容易な課題についての支援	1 (5.6)	13 (72.2)	3 (16.7)	1 (5.6)	-	3 (17.6)	12 (70.6)	2 (11.8)	0 (0.0)	-
複雑な家族関係、困難な課題を抱える事例との関係、 解決困難な問題の調整	0 (0.0)	0 (0.0)	10 (55.6)	8 (44.4)	-	0 (0.0)	0 (0.0)	13 (76.5)	4 (23.5)	-
<b>チームの調整</b>										
他機関紹介等調整が簡単な課題	0 (0.0)	3 (16.7)	12 (66.7)	3 (16.7)	-	1 (5.9)	8 (47.1)	7 (41.2)	1 (5.9)	-
複雑な問題で、チーム内の調整が困難な課題	0 (0.0)	0 (0.0)	9 (50.0)	9 (50.0)	-	0 (0.0)	1 (5.9)	10 (58.8)	6 (35.3)	-
<b>個人家族への援助の評価：総合</b>										
事例の反応を観察し、支援の継続の必要の有無が判断できる	0 (0.0)	3 (16.7)	10 (55.6)	4 (22.2)	1 (5.6)	0 (0.0)	9 (52.9)	7 (41.2)	1 (5.9)	-
地域全体の中に支援事例を位置づけて、事例の評価ができる	0 (0.0)	0 (0.0)	11 (61.1)	6 (33.3)	1 (5.6)	0 (0.0)	1 (5.9)	12 (70.6)	4 (23.5)	-